

「船橋市の地区別ポテンシャル調査報告書」の概要

1. 本調査の背景と目的

過年度の「船橋市基本計画策定に係わる調査研究」において、地区別計画として各地区の将来の方向性を示し、さらに各地区で実施する事業内容の提示方法については実施計画との関連性も踏まえながら検討が必要であると位置づけられている。

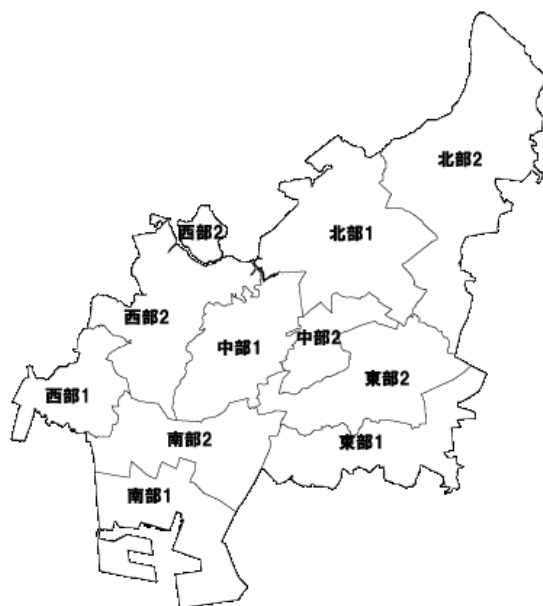
今回の「地区別ポテンシャル調査」では、船橋市内の地区別に詳細に分析を行い、地区別に強みと弱みの整理を目的とした。

2. 地区の設定について

地区別の将来像を提示することを想定すると、土地利用状況や施設立地状況などの地区の即地的な状況が反映されていると考えられるため、「都市計画マスタープランにおける10地区」を基本とし実施した。

図表1 地区の範囲（左表）及び10地区の分布（右図）

地区名	地区の範囲
南部①	本町3丁目、湊町、浜町、若松、日の出西浦、栄町、潮見町、高瀬町
南部②	宮本、市場、東船橋、東町、駿河台、本町（3丁目を除く）、南本町、海神、海神町、海神町東、海神町西、海神町南、南海神
西部①	山野町、印内町、葛飾町、本郷町、古作町、古作、西船、印内、東中山、二子町、本中山
西部②	旭町、前貝塚町、行田町、行田、山手、本本町、丸山、藤原、上山町、馬込町
中部①	夏見、夏見町、夏見台、米ヶ崎町、高根町、金杉町、金杉、金杉台、緑台
中部②	高根台、芝山、新高根
東部①	前原東、前原西、中野木、三山、田喜野井、習志野
東部②	二宮、飯山満町、滝台町、滝台、薬円台、薬園台町、七林町、習志野台、西習志野
北部①	二和東、二和西、三咲町、三咲、南三咲、八木が谷町、咲が丘、みやぎ台、八木が谷、高野台、松が丘、大穴町、大穴南、大穴北
北部②	小室町、小野田町、大神保町、神保町、車方町、鈴身町、豊富町、金堀町、桶が山町、古和釜町、坪井町



資料) (左表) 船橋市資料、(右図) 国土数値情報より三菱UFJリサーチ&コンサルティング作成

3. 調査方法

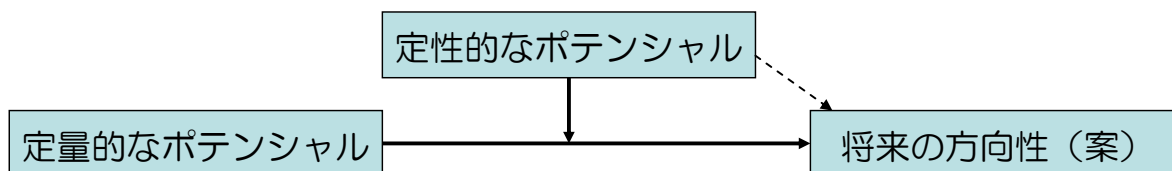
定量的に得られるデータより、船橋市内の10地域におけるポテンシャルの分析を行った。また、定性的なポテンシャルについて、庁内各課が市内10地域毎に任意に設定した「特定のテーマ」について「強み」、「弱み」となる項目を挙げていただき、意見を伺った。

4. 将来の方向性

定量的なポテンシャルを基礎として、定性的なポテンシャルを加味することで、各地区の将来の方向性を検討、整理した。特に、コミュニティや文化振興など定量的な指標に現れにくい項目については、定性的なポテンシャルを重視して検討した。

将来の方向性では、選択と集中の考え方にたった「強みを活かした方向性」と、福祉的な視点にたった「弱みを補う方向性」を挙げる。

図表2 定量的・定性的なポテンシャルから将来の方向性（案）を導き出す方法



5. 将来の方向性（案）について

前述のステップにより検討した将来の方向性の案は以下の通りである。

図表3 将来の方向性

地区名	強みを活かした方向性	弱みを補う方向性
南部①	<p>■船橋を牽引する臨海拠点の形成</p> <p>→漁業、臨海工業団地、ららぽーとなどの大型店等の強みに加え、臨海部特有の資源、地域の祭事、増加している青年層の流入を活かした拠点形成が期待される。</p>	<p>■地域の事業者との連携による安全・安心な環境づくり</p> <p>→犯罪発生率や火災発生率が比較的高いことが課題となっている。地域の事業者、住民と協力しつつ、安全・安心なまちづくりを推進していくことが求められる。</p>
南部②	<p>■多くの人が行き交う交流拠点の形成</p> <p>→県内屈指の利用者数を誇る船橋駅、大小混在した商業集積、学校数・社会教育施設、船橋市役所など多くの人が行き交う地の利を活かした拠点形成が期待される。</p>	<p>■地域住民との協働による安全・安心な住環境づくり</p> <p>→市内で犯罪発生件数が多く、住人も単身者が多いため地域への関心が弱いことが課題となっている。古くからの住人等、地域への関心が高い人材等を活かした見守り体制の確保が求められる。</p>
西部①	<p>■東京からのゲートウェイの形成</p> <p>→3社5路線が乗り入れている西船橋駅を擁しており、交通利便性を活かした交流の場としての機能集積が期待される。</p>	<p>■安心して子育てできる環境の形成</p> <p>→子育て世帯が多く、子育て環境への関心が高い地域にも関わらず、人口当たり犯罪発生件数が高いことが課題となっている。これを払拭するため、コミュニティによる見守りなど安心して子育てできる環境づくりが求められる。</p>
西部②	<p>■田園型ベンチャー産業の振興</p> <p>→緑豊かな地区ながら、「ベンチャープラザふなばし」や2つの工業地区を擁しており、田園的な生活・就労環境を営みつつ、都会とのマーケットに近いといった特徴を活かした地域づくりが期待される。</p>	<p>■充実した自然環境の保全・活用</p> <p>→相続等の問題で農地の減少・緑被率の低下が著しいことが課題となっている。環境の保全や、消費者との関係強化など都市型の農業振興策の展開が求められる。</p>
中部①	<p>■コミュニティビジネスの活性化</p> <p>→コミュニティビジネスの萌芽が見られる地域特性を活かして、市内のモデルとなる市民協働の先進的な取り組みが活発に展開される地域づくりが期待される。</p>	<p>■市と地域の協働による生活環境の維持・増進</p> <p>→地区内には駅がない中で、UR団地内の商店街が撤退する等、身近な生活環境において利便性が低下していることが課題となっている。コミュニティビジネスの活性化を生活利便性の維持・向上の一助とするなど、市と地域住民との協働による生活環境充実の仕組みづくりが求められる。</p>
中部②	<p>■地域コミュニティとの協働によるまちづくりの推進</p> <p>→自治会加入率が高く、民生委員の活動も活発であることから、公団住宅の建て替えに伴う新たな住民も取り込みつつ、地域コミュニティの維持、活性化を図り、市と住民との協働による住みよい環境づくりが期待される。</p>	<p>■高齢化社会に対応した支え合いの仕組みづくり</p> <p>→船橋市内で2番目に高齢化が進んでいることが課題となっている。地域の民生委員等との協力体制の強化や、UR立替に伴って入居した若年層との連携などにより、市と地域との協働により高齢化社会に対応した支え合いの仕組みづくりが求められる。</p>

地区名	強みを活かした方向性	弱みを補う方向性
東部①	<p>■千葉県内のゲートウェイの形成 →習志野市との戦略的な協力体制により、津田沼駅周辺地区における一体的な広域交流拠点の形成が期待される。</p>	<p>■大学と地域の交流・連携 →町会・自治会が充実しているものの、世代間の結びつきが弱いことが課題となっている。地域に立地する大学と地域コミュニティとの交流・連携による地域の文化環境や魅力づくりが求められる。</p>
東部②	<p>■良好な住環境の形成 →新しい街並みの中に整然とされた緑の住環境が形成されていることに加え、自治会活動が活発であり、犯罪発生数は少なく、社会教育施設や、教育・学習支援業の集積等、生活を豊かにする事項が充実しており、これらを活かして優良な住宅地としての価値をより高めることが期待される。</p>	<p>■生活道路の適切な活用による住環境の改善 →優良な生活環境が形成されている一方で、道路の狭隘さが課題となっている。継続的な道路整備だけでなく、歩行者や自転車を優先した生活道路の適切な活用への転換により、人に優しい住環境の形成が求められる。</p>
北部①	<p>■自然と調和した生活文化の発信 →地域の中央部に跨る市街化調整区域など緑地や、国内有数の生産量を有する梨の産地でもあり、これらを活かした自然と調和した生活文化の発信拠点の形成が期待される。</p>	<p>■小規模小売店による高齢者が暮らしやすいまちづくり →船橋市内で最も 65 歳以上人口が多い地域である。一方で、地域内には小規模小売店が多く、大店舗にはできないきめ細やかなサービスを活用した、高齢者が暮らしやすい生活環境の形成が求められる。</p>
北部②	<p>■豊かな自然に囲まれた先端技術集積拠点の形成 →アンデルセン公園等の自然と親しむことができる地域の中に、船橋ハイテクパークといった先進的な企業集積もある。これらを活かした先端技術の集積拠点の形成が期待される。</p>	<p>■地域コミュニティと事業者等のネットワークの形成 →高齢化が進みつつある中で、住宅地が分断している一方、地域組織の繋がりは強い。今後は、地域コミュニティと農業・産業・医療など地域で活動する人々との交流・連携を活性化し、地域の生活環境の充実や魅力づくりが求められる。</p>